Part 1

STUDY UNIT 8

ADUSTMENTS TO BASIS
資産のベーシスへの調整
CAPITAL GAINS / LOSSES
キャピタル・ゲインまたはロス

A28問（71.8%）**B**5問（12.8%）**C**6問（15.4%）

8-1 Adjustments to Asset Basis
（資産のベーシスに対する調整）
8-2 Holding Period
（保有期間）
8-3 Capital Gain and Losses
（キャピタル・ゲインおよびロス）
8-4 Capital Gains on Sales of Stock
（株式の売却）
8-5 Sec.1202 and 1244 Stock
（適格中小企業株式）

SU8-Q1　8-1. Adjustments to Assets Basis　Aランク

Which of the following will decrease the basis of the property?

A. Depreciation.
B. Return of capital.
C. Recognized losses on involuntary conversions.
D. All of the answers are correct.

SU8-Q1　Answer（D） is correct.

出題トピック：資産のbasisが減少する例

Point !　*資産のbasisに対する調整*

＋主な加算調整 （追加の投資または課税）	－主な減算調整 （投資額の回収または控除）
＜資本的支出＞ ***＝資産の価値を高める、耐用年数を延長する、新しい用途に使用するための支出。*** **・改良（improvement）** ・都市計画費用（zoning cost） ・特別賦課税（special assessment tax） *※資産を使用可能な状態に保つための支出（例：壊れた蛇口等の交換や再塗装費用）は資産計上されない。これらの費用は、賃貸不動産や事業用資産であれば、修繕費として即費用化することができる。*	＜投資額の回収＞ **・資本の払戻し（return of capital）** ・地役権（easement） ＜資産に絡む各種控除項目＞ 以下により、対象資産のbasisが減少する。 **・減価償却控除およびSec.179控除（depreciation and Sec.179 deduction）** **・災害盗難損失控除（casualty and theft loss）** **・強制的転換による損失控除（involuntary conversion）**

【注】 資産のbasis（資産への投資額、所得税が課税済の金額を表すもの）は、マイナスの値にはなりえない。※資産のbasisは、所得税の二重課税・課税漏れを防ぐ道具。

＜ポイント解説＞
選択肢（A）（B）（C）いずれも、対象となった資産のbasisが減少する。∴**選択肢（D）**が正解。

SU8-Q4 8-1. Adjustments to Assets Basis Aランク

Mrs. Yee purchased stock in Jones Corporation in 2007 for $500. In 2010, she received a distribution of $800 when Jones had no current or accumulated earnings and profits. In 2012, Mrs. Yee received a $200 dividend when Jones had earnings and profits in excess of its dividend distribution. There has been no other activity on this stock. What is Mrs. Yee's basis in her Jones Corporation stock as of December 31, 2012?

A. $(500)
B. $(300)
C. $0
D. $500

SU8-Q4 Answer（C） is correct.

出題トピック：資本の払戻し

Point ! ***普通法人（C Corporation）からの通常の分配***

残り	→(c) **Capital gain**として課税
Stock basis	→(b) **Return of capital**として不課税　※株式のbasisは減少する
E&P	→(a) **Dividend**として課税

Mrs.Yee氏の株式のbasis
＝$500（2007年取得価額）
－$800（2010年資本の払戻し）
＋$300（2010年キャピタル・ゲインとして課税）←株式のbasisはーの値にはなりえない。
＝**ちょうど$0**

※2012年における配当の受領は株式のbasisに影響を与えない。

∴2012年期末における株式のbasisは**$0**。**選択肢（C）**が正解となる。

SU8-Q10　8-2. Holding Period (HP)　Bランク

If 100 shares of stock are purchased on February 14, 2012, what is the earliest date on which the stock can be sold and the gain or loss can qualify for the long-term holding period?

A. August 14, 2013.
B. February 15, 2013.
C. February 14, 2013.
D. August 15, 2013.

SU8-Q10　Answer（B）is correct.

出題トピック：長期・短期の判別

Point !　***資産の保有期間（Holding Period）***

取得日の翌日～処分日 → 1年以内 → 短期
　　→ 1年超 → 長期

資産の取得方法	保有期間
購入または交換	取得日の翌日から起算。
贈与	**原則**：Donor's Basisを引き継いだ場合 ⇒ 保有期間も引き継ぐ（Donorの取得日の翌日から起算）。 **例外**：FMV at Date of Giftを用いた場合 ⇒ 贈与日の翌日から起算。
相続	常に「長期」として扱われる。
同種資産の交換	投資用または事業用資産で、同一クラスの資産の交換が該当する。 ⇒交換に出した古い資産の保有期間を引き継ぐ （古い資産の取得日の翌日から起算）。

＜ポイント解説＞

選択肢（B）：**取得日の翌日2月15日**～翌年2月15日⇒保有期間は1年＋1日となり、長期。
選択肢（C）：**取得日の翌日2月15日**～翌年2月14日⇒保有期間はちょうど1年となり、短期。

SU8-Q22 8-3. Capital Gains and Losses Aランク

In computing the gain or loss from a sale or trade of property, which statement below best describes the amount you realize?

A. The money you actually receive.
B. The fair market value of the property on the transaction date.
C. Everything you receive for the property.
D. The value of any services you received.

SU8-Q22 Answer（C） is correct.

出題トピック：実現総額（amount realized）

＜ポイント解説＞
選択肢（A）：現金、選択肢（B）：現物、選択肢（D）：人的役務を含め、
対価として受領したものすべて＝実現総額（amount realized）。
∴**選択肢（C）**が正解となる。

Point !	*Amount realized*
• **Cash received**（受領した現金の金額） • **FMV Property received**（受領した現物のFMV） • **FMV Service received**（受領した人的役務のFMV） • **Cancellation of Debt (C.O.D.)**（債務免除額） ※ 売却・交換諸費用を差し引ける。	

SU8-Q14　8-3. Capital Gains and Losses　Aランク

Milton spent $70,000 for a building that he used in his business. He made improvements at a cost of $20,000 and deducted a depreciation of $10,000. He sold the building for $100,000 cash and received property having a fair market value of $20,000. The buyer assumed Milton's real estate taxes of $3,000 and a mortgage of $17,000 on the building. Selling expenses were $4,000. The gain on the sale is

A. $10,000
B. $56,000
C. $40,000
D. $52,000

SU8-Q14　Answer（B）is correct.

出題トピック：資産の売却損益の計算

＜ポイント解説＞

Amount realized ＝
　$100,000（受領した現金の金額）
＋$ 20,000（受領した現物のFMV）
＋$　3,000（債務免除額：**C.O.D.**）
＋$ 17,000（債務免除額：**C.O.D.**）
－$　4,000（売却諸費用）
＝$136,000

売却日における建物のbasis ＝
　$70,000（取得価額）
＋$20,000（改良）
－$10,000（減価償却累計額）
＝$80,000

∴$136,000－$80,000 ＝ **$56,000 gain**
選択肢（B）が正解となる。

負債の取扱い	Point !

・**相手に引き受けてもらった負債**
　＝債務免除額：**C.O.D.**
　＝**「現金の受領」**と考える。
・**自分が引き受けた負債**
　＝**「現金の支払い」**と考える。

※交換取引において、互いに負債を引き受けた場合には、互いの負債を相殺して（差額で）、交換差金（boot）の受渡し額を計算する。

Point !

8-3. Capital Gains and Losses

資本資産（capital assets）の判別

資本資産ではない資産の例 （Non-Capital Asset）	資本資産の例 （Capital Asset）
① 棚卸資産 ② **事業用**の減価償却対象動産および不動産 ③ 売掛金・受取手形等 ④ 創作した者により所有されている著作権等 ⑤ 自己株式（treasury stock）	左記以外の資産。 • **個人使用**資産（例：自宅） • **投資用**資産（例：株式） • 購入した著作権等

譲渡所得の2種類

通常損益（Ordinary gain / loss）	キャピタルゲイン・ロス（Capital gain / loss）
※Form 1040 13行目に記入 （注）但し、Sec.1231 gainを除く。 詳細は【SU9】にて解説する。	※Form 1040 14行目に記入

Point !

8-3. Capital Gains and Losses

個人所得税における“キャピタル・ロス”の取扱い

※キャピタル・ゲインとロスの計算はForm 1040 **Schedule D**にて行う。
キャピタル・ゲインとロスを相殺する際には、長期分・短期分をそれぞれ分けて相殺した後、さらに可能であれば短期と長期を相殺することとなる。

キャピタル・ゲインとの相殺（内部通算）後の純キャピタル・ロス (net capital loss) は、$3,000（MFS：$1,500）を上限として、通常所得（ordinary income＝キャピタル・ゲイン以外の全ての所得）との損益通算可。
損益通算後の純キャピタル・ロスは、翌年以降**無期限の繰越し**が可能で、他の年度のキャピタル・ゲインと相殺することができる。※繰越されたキャピタル・ロスは、繰り越された年度で、もともと短期のものは短期、長期のものは長期として扱われる。

“キャピタル・ゲイン”の取扱い

長期キャピタル・ゲイン（LTCG）には**15%**の**軽減税率**（低額所得者の場合は0%）が適用される。但し、Unrecaptured Sec.1250 gainには**25%**、美術品や骨董品などの収集品（collectibles）から生じたゲインには**28%**の税率が適用される。
※短期の純キャピタル・ロスを、長期キャピタル・ゲインと相殺する場合、適用税率の高い順（28%→25%→15%）に相殺していくことになる。
※Unrecaputured Sec.1250 gainとは、Sec.1250 assetsから実現したゲインのうち通常所得（ordinary income）として扱われない残りの減価償却部分をいう。

SU8-Q20 8-3. Capital Gains and Losses Aランク

Sharon sold two collections during 2012. These were her only sales.
Determine the amount and character of her gains/losses on these sales.

- Coin collection she began as a child with a basis of $1,000, sold for $5,000
- Collection of original short stories she wrote in 2009, sold for $20,000

A. $20,000 long-term capital gain.
B. $24,000 long-term capital gain.
C. $4,000 long-term capital gain and $20,000 ordinary income.
D. $24,000 ordinary income.

SU8-Q20 Answer（C） is correct.

出題トピック：資本資産（capital assets）の判別

＜ポイント解説＞

資本資産ではない資産の例 （Non-Capital Asset）	資本資産の例 （Capital Asset）
① 棚卸資産 ② **事業用**の減価償却対象動産および不動産 ③ 売掛金・受取手形等 ④ 創作した者により所有されている著作権等 ⑤ 自己株式（treasury stock）	左記以外の資産。 • **個人使用**資産（例：自宅） • **投資用**資産（例：株式） • 購入した著作権等

- 収集したコインコレクションは投資用資産となりCapital assetである。
  ∴$5,000－$1,000＝**$4,000** gainは、**長期キャピタル・ゲイン**となる。
- Sharon氏自身が書いたオリジナル短編小説（著作権）はCapital assetではない。
  ∴$20,000－$0＝**$20,000** gainは、**通常所得（ordinary income）**となる。

よって、**選択肢（C）**が正解となる。

SU8-Q24 8-4. Capital Gains on Sales of Stock Aランク

Rose had the following transactions during 2012:

- Sale of ACB stock (basis $400) $800
  Commission paid on sale of ACB stock $ 50
- Received 200 extra shares of DEF in stock split (fair market value) $800
- Decrease in value of GHI mutual fund $600
- JKL stock declared worthless (basis $700) -- no stock value $ 0

What is the **net gain or loss** Rose will claim on her Schedule D?

A. $350 loss.
B. $1,000 gain.
C. $300 gain.
D. $650 loss.

SU8-Q24 Answer（A） is correct.

出題トピック：株式の売却・分割・無価値化

＜ポイント解説＞

● ACB社の株式の売却

$800（売却価格）－$ 50（売却手数料）
－$400（株式のbasis）
＝**$350 capital gain**

● DEF社の株式分割

株式分割は非課税である。損益を認識することはない。

● GHI投資信託の時価下落（unrealized gain/loss）

未実現損益については、売却・交換等しない限り、損益を認識することはない。

● JKL株式の無価値化（worthless securities）

有価証券が無価値化した場合の損失は、課税年度末の時点であたかも$0で売却したかのように、キャピタル・ロスとして認識し控除可。

$ 0（売却価格）
－$700（株式のbasis）
＝**$700 capital loss**

∴$350＋($700) ＝ **($350) capital loss 選択肢（A）**が正解となる。

SU8-Q34 8-4. Capital Gains on Sales of Stock Bランク

Ms. Birch purchased the following stocks:

- 300 shares of Music Corp. on 1/18/04 for $3,000
- 200 shares of Play Corp. on 2/11/05 for $2,000
- 600 shares of Fun Corp. on 4/27/11 for $16,000
- 100 shares of Book Corp. on 12/19/11 for $8,000

On April 27, 2012, Ms. Birch sold all of the above stock for the following amounts:

Music Corp.	$ 5,000
Play Corp.	10,000
Fun Corp.	4,000
Book Corp.	14,000

What are Ms. Birch's net long-term capital gains or losses (LTCG/LTCL) and short-term capital gains or losses (STCG/STCL) on the above transactions?

A. LTCG, $10,000; STCL, $6,000.
B. LTCG, $16,000; STCL, $12,000.
C. LTCL, $2,000; STCG, $6,000.
D. None of the answers are correct.

SU8-Q34 Answer（A）is correct.

出題トピック：株式の売却

＜ポイント解説＞

売却日は全取引について**4/27/12**である。

会社名 **取得日**	取得価額	売却価格	売却損益
Music社 **1/18/04**	$3,000	$5,000	長期 $2,000
Play社 **2/11/05**	2,000	10,000	長期 $8,000
Fun社 **4/27/11**	16,000	4,000	**短期※** ($12,000)
Book社 **12/19/11**	8,000	14,000	短期 $6,000

※取得日の翌日から売却日までちょうど1年となり、短期。

長期分：$2,000＋$8,000＝**$10,000 LTCG**
短期分：$6,000＋($12,000)＝**($6,000) STCL**
∴選択肢（A）が正解となる。

SU8-Q39　8-5. Sections 1202 and 1244 Stock　Aランク

Shannon and Dan Smith (wife and husband) purchased Section 1244 (small business) stock in 2012. Which of the following statements is true?

A. If they incurred a loss on Section 1244 stock, they can deduct the loss as a capital loss rather than as an ordinary loss.
B. If the stock becomes worthless, they can claim an ordinary loss limited to $50,000 individually or $100,000 together on a joint return, per year.
C. If the loss is $60,000 and Shannon does not have any other losses, Dan can only deduct $50,000 as ordinary loss on the joint return.
D. If they incurred a gain on Section 1244 stock, they should treat it as ordinary gain.

SU8-Q39　Answer（B） is correct.

出題トピック：Sec.1244株式の特例

＜ポイント解説＞

Point !　***Sec.1244株式の特例***

Sec.1244株式（適格中小企業株式）の売却・交換・無価値化などにより生じたロスは、$50,000（MFJの場合は$100,000）を限度に通常損失（ordinary loss）として控除可。限度額を超過する部分は、原則通りキャピタル・ロスとなる。
Sec.1244株式に関する特例は、中小企業に対する投資促進を目的としているため、該当会社に直接資本を提供し株式の発行を受けた者（original owner）のみ適用可。

選択肢（A）：キャピタル・ロスではなく、通常損失として扱えるという規定であるため、誤り。
選択肢（B）：正しい記述である。∴**選択肢（B）**が正解となる。
選択肢（C）：MFJの場合の限度額は$50,000ではなく$100,000であるため、誤り。
選択肢（D）：ゲインについては原則通りキャピタル・ゲインとなるため、誤り。

Point !　***Sec.1202株式の特例***

個人の納税者が5年を超えて保有しているSec.1202株式（適格中小企業株式）の売却または交換により生じたゲインは、原則として、その50%をGIから除外可。
※2009年2月18日～2010年9月27日の期間に取得した株式の場合はその75%、2010年9月28日～2013年12月31日の期間に取得した株式の場合はその100%をGIから除外することができる。